

原村医療費特別給付金制度住民懇談会主な意見・提言

平成31年2月20日（水）、22日（金）の懇談会へは大勢のみなさまにご参加いただきありがとうございました。その時の主な意見、提言は以下のとおりです。

		意見・提言
継続	1.	この制度は原村の人口が増えている要因の一つでもあると思うので是非続けてもらいたい。
継続	2.	申請書の提出期限、回数は今までどおりにしてほしい。
継続	3.	地方自治の方針にのっとった素晴らしい全国に誇る制度なので継続するよう村民と行政と一緒に考えて、福祉の増進のため、努力して維持していくことが大事。
継続 (意見)	4.	税金を40年ほど納めてきたのに、いざこの制度に該当するかと思えばお金がないから年齢を引き上げます。やめます。では困る。子どもの対象を小学生までに引き下げるなど考えたらどうか。世代により子供分を払いさらに自分の分も払うのは不公平。
見直し	5.	財政調整基金が減るのは大変なこと。災害等のために子孫に財産を残していく必要がある。今後は長寿化するため、制度の抜本的改革と健康づくり、検診の普及、食生活改善の教室を開催し健康な原村を作り上げてほしい。
見直し	6.	人口増と言われますが、給付額が増えて財政難というなら制度改正して給付額を減らしていくのも仕方ない。原村に住み票だけおいて東京で高い注射を打って給付金をもらっていると聞くと、それでは自分は一生懸命汗水たらして働いて税金を納めているのに面白くない。若い人が転入してくる村なら税金を納めてくれて財政源にもなる。居住要件が2年とあるが20年でもいいと思う。若い人が転入してくる活気あふれる村にしてほしい。
見直し	7.	財政難なので県内医療機関だけにして県外はやめてもいいと思う。
見直し	8.	子供の医療費はこのままで、老人について全く廃止とするということではなく存続するために見直しをしていく時期。年齢引き上げとか居住要件3年でもよいのでは。減額ができるように改革検討を進めてもらいたい。
意見	9.	年寄りには病気になりやすいため医療費も多くなる。転入者からは「この制度が無くなれば心配」とする意見が聞かれず、この制度を目的に転入してきたのではないと思われるため、給付金目的の転入者がいるように勘違いをしている人がいるのではないか。
意見	10.	国や県からの補助金等を増やし、転入者と共に1つになって知恵を出し

		合い、他にお金を生むようなことを考え裕福になるよう考えてほしい。県外治療が必要になる場合もあるので給付しないということではなく、諏訪中央病院に質の良い医者や看護師を呼び、県外から治療に来るようにすると、県外から治療に来た人が泊り、原村で高原野菜をお土産に買えば村にお金が落ちるのでは。ねだるばかりでなく1人1人が知恵を出し、お金を生むようなことを考えてほしい。
意見	11.	具体的な数字を出して、これならやっているとかが何年できる、もちます。というデータを出してほしい。
意見	12.	データ分析が弱いので説得力がない。いろいろな人の意見は存続より何とかしないといけないと言っている。村は財政全体で見直しを行いとあるが何か考えているのか。施策はあるのか。村の施設の中で一番問題なのは自然文化園と思う。私は移住者ですが医療費が無料になるから転入してきたわけではありません。新しい技術でデータ分析をして原村をシミュレーションしてもらいたい。
その他	13.	検討委員会ではなく、力のある協議会を立ち上げたほうが良いのでは。
その他	14.	移住説明会の時にこの制度は説明を受けうれしかった。住民の意見を聞くこのような会を設けていただいてありがたいと思う。

貴重なご意見やアドバイスありがとうございました。いただいた意見をさらに検討をし、総合的に判断して、今後の施策に活かして行きたいと思えます。